続いて宝満の岩石についてのお話がありました。

宝満は通常は島となっていて、長崎海岸から遠目で烏帽子をかぶった男性が仰向けになっているなと見ているだけでした。今回の勉強会で説明された溶岩の流れを示す見事な板状節理（隠れた見どころです！）、これは宝満の火山が陸上噴火であることを示していると思いました。また、凝灰質砂岩の上に食い込むように覆われた溶岩の様子など、日本列島が大陸から離れる際に噴火する様子を想像して、まさに宝満が千葉県唯一の現地性火山だと実感しました。是非、現地に行き、詳しく現場を確認したいと思います。

宝満の板状節理、名前を付けて！

春のジオ俳句

海の色
春一番が
去った後

今年は二月中旬に春一番が吹き荒れました。君ケ浜の砂丘植物、犬吠埼の白亜の地に崖地植物群、殆どの植物が未だ冬の眠りから目が覚めない様子です。そんな中、浜ダイコンの花が一番星のごとく凛として咲いていました。

作　保立　得造

櫻咲く
波静かなり
君ケ浜

作　大吉

君ケ浜
ガイドと巡る
春の森

君ケ浜砂丘上に広がるジオパークの森は、魅力あるジオサイトです。

縄文海進と海退の地史、延宝津波と砂丘越えの津波の痕跡（小畑池）。クロマツ林、トベラやオオシマザクラの混合林、そしてタブノキの極相林です。

作　石嶋　博行

屏風ケ浦　海岸清掃

ダイナム千葉銚子店
石井　健一

ダイナム銚子店では令和3年よりジオパーク清掃に参加しています。私自身は2月18日の屏風ケ浦の海岸清掃が初めての参加となりました。

水上バイクに興じる人々の姿を見て、2月とは思えないこの陽気に誘われたものなのだろうと思いきや、ここでは年中、常にマリンスポーツを楽しむ人たちの姿が見られるという話を聞き、非常に驚きました。

左から、石井さん、千葉さん

さて、海岸清掃については、なにぶん不慣れなこともあり、細かいプラスチック片やビニール片の収集に夢中になり、あまり広い範囲は見回れず、景色を楽しむ余裕もありませんでした。他の参加者の方によれば、「様々な生き物の姿を見ることもあるし、海岸自体も工事で景色が変わってきている。ゴミも、漁具や海外製品などが混じっていたりして面白い」とのこと。

そういえば、この活動には異動した前店長や今の店長も、率先して自らが参加していたっけ・・・と思い出しました。自身も参加してみて、今まで知らなかった景色をもっと見たい、様々な方々との交流をもっと深めたい、と思うようになりました。あっという間の一時間でした。次の活動を楽しみにしています。お疲れさまでした。

屏風ケ浦　無料ガイド

向後　和子

2月18日（日）の海岸清掃終了後、10時から11時30分まで無料ガイドが行われました。この日は、2月なのにとても暖かく晴天でした。屏風ケ浦には、沢山のジェットスキーヤーが集まっていて、海岸清掃に参加してくれました。私は無料ガイドの当番で神奈川県から来られたご夫妻を案内しました。砂浜を歩きながら屏風ケ浦全体を見て頂きました。海ではジェットスキーがものすごいスピード感で走るのを見て、事故が起こらなければと思いました。そして、砂浜から石垣を上がって遊歩道に行く際に、私は石垣を普通に上がったつもりでしたが、「大丈夫ですか」と声を掛けて頂きました。若いご夫婦から見れば大変そうに見えたのかと、改めてガイドをするには知識だけではなく、足腰も鍛えなければと思いました。

屏風ケ浦の今回のガイドほど時間をかけて有意義にご案内できた日はなかったと思います。お客様も熱心に耳を傾けて下さり、屏風ケ浦とその周辺の話を十分にすることができました。

ガイドツアーの皆さん、右端が向後さん